

クレーンを起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	9～10	工場内でトラック（4t）の荷台に積んであった鉄骨材（約500kg）を荷卸しするのに、鉄骨材に玉掛けをして一度少し天井クレーンで吊り上げたが、荷のバランスが悪いため玉掛けをやり直そうとしたが、天井クレーン操作者と息が合わず、左手の小指の先を玉掛けワイヤーと鉄骨材の間に挟まれてケガをした。	40	11209	7	10～29
2017	1	17～18	製造工場棟にて、清掃の為クレーンを使用して型枠を移動している時、天上クレーンで鋼製型枠を移動する為にクレーンオペレーターの補助をしていた。その型枠をフォークリフトに積み込む時にオペレーターが押しボタンを押し間違えてしまい型枠の間に指を挟んでしまった。その際、右手で型枠を押さえていたために挟んでしまい、ケガをした。	37	10901	7	30～49
2017	1	13～14	鉄の部材にタップ加工をする際、クレーンで移動し台座から外してクレーンを上げたのだが、中央に寄っていたワイヤーが台座に引っ掛かるのを分からず、クレーンを上昇させてしまった為、その反動で鉄の部材が崩れてきて、左足に乗っかって（落ちて）負傷した。	62	11209	4	30～49
2017	1	11～12	鉄板1にフックをつけクレーンでつり上げ、鉄板2、3を外す作業をしているとき、当日は鉄板が3枚ありフックがついた鉄板1以外は固定されてなく、クレーンでつり上げた際、2枚目の鉄板（200kgくらい）と3枚目の鉄板（200kgくらい）が動く状態で、また鉄板1の片側のみにフックを掛けクレーンで持ち上げたので、鉄材自体	36	11301	7	1～9

			が不安定に揺れていて、とっさに鉄板1と2を左手でつかんで揺れを抑えようとしたところ、傾きが逆になり、鉄板3が戻ってしまったため、3に左手指を挟んだ。				
2017	1	16～ 17	当社工場の資材置場において、天井クレーンを使って台車の資材の積み下ろしを行っていた際、クレーンのスイッチを入れ、ウィンチを移動させたところ、ウィンチと一体になっているスイッチのコードが棚に積まれていた母屋（角パイプ）（重量4～500kg）に引っ掛かり、母屋の束が約2m90cmの高さから滑るように落下し、床に置いてあった他の資材との間に左手を挟まれた。	21	11301	4	1～9
2017	1	10～ 11	社内の天井クレーンにおける走行フランジ及びレールに余分な油が付着していたため、その油のふき取り作業に伴いクレーンを動かしていたところ、クレーンに付随する長軸モーターが回転し、フランジ横にあるギアに作業者の袖が巻き込まれ、ギアとロットに挟まれ右腕を負傷した。	57	11001	7	10～ 29
2017	1	13～ 14	倉庫内荷捌工場の現場にて、ローリングタワー1段目に上る際に手が滑ってしまい転落した。	0	30209	1	1～9
2017	1	10～ 11	鉄筋を搬送、搬送先従業員がクレーンで鉄筋を降ろす為の玉掛け作業を終え、安全な場所に移動中、指示がないにもかかわらず天井クレーンが動いたことから、危険を感じて慌てて荷台から飛び降りた際、体勢を崩し着地し、左手を着き怪我をした。	50	40301	1	10～ 29
2017	1	14～ 15	新規に搬入された型枠を場内に配達中、クレーンで型枠を反転作業していた時にチェーンのフックが外れ、右足に倒れて落ちた。	39	10901	4	10～ 29
2017	1	14～ 15	取引先の工場に荷物の引き取りに行った際、工場内からクレーンで荷物を外に移動中、荷物が荷くずれし現場近くにいたため避けたが、傾いたパレティーナの下に右足が残り、右足甲部を骨折した。	38	11209	4	1～9
			被災者は、生材置き場に、搬入された生材鋼板				

2017	1	8~9	(2400×12.5m、t12、約2.8t) を、天井クレーンに吊ったリフティングマグネットを使用して、トレーラーから積み下ろす作業を行っていた。トレーラー荷台より鋼板を地切したのち、90度回転させて移動を試みたが、その際の回転力が強すぎて必要以上回転しそうになったので、思わず左手で押さえようとした時、回転が停止せず、そのまま添えた手とともに鋼板がトレーラーのアオリに激突し、左手第3、4指を受傷した。	58	11209	6	1~9
2017	1	11~12	コンテナヤード内でアレンジャーの作業を行っていた被災者は、引き取り車両のトレーラーが、誤って本船で使用している本船トレーラーの走行レーンに進入してからCレーン（被災場所）に進入したため、トレーラーの運転手に注意する目的でCレーンに入り、注意していた時に走行してきたトランスファークレーン（RTG）に接触して被災した。	47	50202	7	30~49
2017	1	13~14	作業場にて、立ってクレーンを使用し、BW（P）ブロックを起立させている時に、手押し台車が邪魔だったので一旦クレーンを停止し、手押し台車手すりに左手をかけて台車を引いていた時に、停止していたブロックが急に起立姿勢に変化し、台車手すりと部材の間に指を挟まれて受傷した。	60	11501	7	10~29
2017	2	9~10	当社第一工場にて、倉庫柱（9,217mm×588mm、1,800kg）の端梁を溶接中に、別の柱を吊り上げている天井クレーン（A）に、隣の天井クレーン（B）が移動してきた後に当該天井クレーン（A）に接触したため、つり下げられた柱が反動で揺れ、溶接中の倉庫柱と反動で揺れた柱に左手を挟まれ受傷した。	28	11209	6	30~49
2017	2	10~11	当社敷地内、屋外製品ヤードにて、材料の荷降ろし中、台木が足りなかった為、底板がたわみ、吊金具のチェーンが地面と材料の間に挟まった。それをクレーンで上げ引き出そうとして、チェーン吊り元側でクレーンを操作し、チェーンを引いたが、チェーンが外れた反動で自分にチェーンが直撃した。	57	11209	6	10~29

2017	2	18~19	会社内にてクレーンから鉄板（3000×500mm）を降ろす作業中、台木を揃えていたところ誤って左手人差し指を鉄板と台木の間にはさまれ負傷した。	26	11009	7	1~9
2017	2	8~9	当社作業場内において鉄平棒（厚さ2mm×幅250mm×長さ2000mm、重量200kg）を切断機から材料置場にクレーンで移動中クレーンが壁にぶつかりクレーンで吊っていた鉄平棒がバランスを崩し左足首に接触し、負傷してしまった。	40	80209	6	1~9
2017	2	17~18	自社工場でH鋼（20cm×30cm×6m）をクランプチャックで挟み吊り上げた際に、クレーンの手元のボタン操作を誤り、逆へ移動させてしまったため、高さ150cm上の付近にあった棚へH鋼が上がってしまい、クランプチャックがゆるみ落下した。頭の方へ落下してきたが避けたため足が下敷きになってしまった。	32	11301	4	1~9
2017	2	14~15	当工場内で吊り作業をしている時、天井クレーンの真下に吊り荷が無い事を見落とし、作業を行った結果、振れと、ずれが生じ、製品と床の間に右足を挟まれ負傷した。	50	11002	7	50~99
2017	2	14~15	天井クレーンの真下の位置に吊り荷がない状態で、吊り作業を行うと上げた時に振れが生じ吊り荷がずれたり落下する恐れがあるにもかかわらず吊り作業を行おうとした際、天井クレーンの真下に吊り荷が無い事を見落とし吊り作業を行った為振れが生じて吊り荷がずれて製品と床との間に右足を挟まれて負傷した。	50	170101	7	10~29
2017	2	8~9	始業後加工予定の母材内径に貼ってある母材カードを剥がす為に当該被災者が内径に手を入れている際に、同時にクレーンマンが当該コイルをラインに供給する為にリフターを降下させた。被災者はクレーンの死角で作業（身を屈めた状態）をしていた為、降下してきたリフターに頭から押しつぶされた形になり、無意識に横に逃げたが、背中を圧迫された。	34	11209	1	50~99
			始業後加工予定の母材内径に貼ってある母材カードを剥がす為に当該被災者が内径に手を入れている際に、同時にクレーンマンが				

2017	2	8~9	当該コイルをラインに供給する為にリフターを降下させた。被災者はクレーンの死角で作業（身を屈めた状態）をしていた為、降下してきたリフターに頭から押しつぶされた形になり、無意識に横に逃げたが、背中を圧迫された。	34	170101	1	10~ 29
2017	2	15~16	4.8t吊り橋型クレーン落成検査に使用したウェイトを搬出するため、橋型クレーンを使用しトラックに積み込む作業中に、クレーンオペレーターが誤って別のボタンを押したため、クレーンが横行し、荷が振れ、クレーンサドルと吊り荷の間に被災者の両足が挟まれ被災した。	38	40301	7	1~9
2017	2	9~10	取引先の工場内にて溶接作業中、従業員がH鋼を下ろしたところ、クレーンで吊り上げてしまいH鋼が倒れて転がり落ちて、作業中の本人に当たって負傷した。	41	11209	4	1~9
2017	2	22~23	倉庫天井クレーン撤去工事において、天井クレーンをレッカーにて吊り下げ段取り中、天井クレーンが片荷重でバランスが悪かった為、バールで調整中、天井クレーンの端が浮き上がり、被災者の左大腿部に接触し負傷する。	55	30209	4	—
2017	2	9~10	荷降し場でトラックから2tの柱を降ろす時、周りの確認のための補助として入っていたが柱の枝が十字でその1本が地面についた時、バランスを崩して、倒れてきた。手を出さない様（倒れてきても）指示は出していたが思わず支えようと手を出してしまい、倒れてきた側から支えに行こうとして、枝に足をはじかれ骨折した。荷物の柱は、バランスを崩したとは言え、チェーンワイヤーで吊しているため地面に全てが降りきるわけではなかったため、労働者本人の上に落ちたりはしていないし、乗っていない。	41	11209	5	1~9
2017	2	0~1	金型交換業務にて、金型を天井クレーンで吊り、設備上でクレーンを停止させ、設置場所の微調整をクレーンで行った際に、金型に添えていた右手小指を金型と設備の間に挟んでしまった。	43	11209	7	50~ 99
			倉庫内に、工事関係で借りていた敷鉄板				

2017	2	8~9	(L1828×W914×T22、289kg)を戻す為、敷鉄板を積載した2tダンプをバックで入れ、天井クレーンで敷鉄板を荷下ろしする際、ダンプ後部のスペース(約2m×3m)に、相手方が厘木を2本並べ、その上に下す手助けをしていたが、厘木の位置が思ったより左右に広く、厘木の位置が見えなかった為、敷鉄板の端部を持っていた左手示指を厘木と敷鉄板の間に挟まれ負傷した。	56	30309	7	1~9
2017	2	16~17	リフティングマグネット付天井クレーンを用いて製品の搬送作業中に、滑車部に右手を置いて操作スイッチを押したため、中指を巻き込まれて負傷した。	30	11002	7	50~99
2017	2	10~11	お客様構内工場A-2棟内において、同僚3名とペンダント操作式6t天井クレーン性能検査の準備作業中、ウエイトを吊り上げる為にクレーン操作者と連絡を取り合い、クレーン上に乗った状態で走行していた時、制御盤上に置いていた小物工具が落ちそうになったため、走行方向に対し後ろ向きで立ち上がった際、建屋の梁を制御盤の間に挟まれ死亡した。	32	11501	7	50~99
2017	2	14~15	被災者は、角型鋼管をトレーラーに積み込みのため出荷倉庫にて、クレーン担当者と打ち合わせを実施後、荷台上へのぼった。クレーンで吊り上げた角型鋼管(10m)が運ばれてきたが、荷台に対して斜めだったので、平行になる様に荷台前部(吊荷前端)で時計回りに旋回させた。吊荷旋回を荷台平行時で止めるため、荷台後部(吊荷後端)へ移動しかけたが、旋回速度が速く、間に合わなくなり、途中で受け止めようとした。被災者は、吊荷旋回を止め切れず、荷に押されて荷台(1.46m)より転落し、右手親指と左肩を強打した。	57	40301	1	10~29
2017	2	16~17	2号ドック横の艀装品センターで4.8tクレーンを使用し、M768キャットウォークの仕分け作業をしていた。2つに重ねていたキャットウォークAとBを仕分け、並べ、被災者が仕分けした荷AとBの間に入り、自分の方向にクレーンで、ゆっくり引きずる形	60	11501	8	30~

			で、Aを移動した際にAが想定以上に急接近し、とっさに左手で止めた為、背後のBに肘が、つかえて挟まれる状態となり負傷した。					49
2017	3	11~12	当社加工場内で加工材料を移動中、吊り上げた材料が振られ足にあたり、その反動でふらつき後ろにあった機械に足をぶつけた。	50	11209	6	1~9	
2017	3	8~9	休業明けの炉床及び炉側面のノロ・地金除去作業中、出鋼口付近のノロ・地金を除去するため、破碎機で除去しようとしたが硬すぎるため、クレーンを使用し除去しようとフックを左足で踏みつけクレーンを巻き上げたとき、フックが外れ飛ばされた。	27	11002	6	50~99	
2017	3	9~10	ダクトの製作作業を行っていたとき、後ろから直径214cm・幅75cm・重さ約1tの摺動管が転倒し飛ばされ左足をダクトに挟まれて負傷した。摺動管を他の従業員がチェーンで上から吊して移動させる操作をしていた際に、チェーンが絡まってバランスが崩れ、摺動管が倒れた。なお、安全靴とヘルメットは着用しており、玉掛け・クレーン操作は有資格者が行っていた。	63	11209	6	10~29	
2017	3	9~10	ダクトの製作作業を行っていたとき、後ろから直径214cm・幅75cm・重さ約1tの摺動管が転倒し飛ばされ左足をダクトに挟まれて負傷した。摺動管を他の従業員がチェーンで上から吊して移動させる操作をしていた際に、チェーンが絡まってバランスが崩れ、摺動管が倒れた。なお、安全靴とヘルメットは着用しており、玉掛け・クレーン操作は有資格者が行っていた。	29	11209	6	10~29	
2017	3	8~9	鉄筋の荷卸し作業をしているときにクレーンで荷を吊り上げたら荷ぶれが起こり、荷に押される格好で荷台から転落した。	52	40301	1	10~29	
2017	3	11~12	救急ロータリー棟屋上平地台車を、タワークレーンで新棟1Fスラブ上へ揚重していた。被災者は新棟スラブ上で合図をしていたが、型枠に荷が引っ掛かり傾いたため、支えようと手を伸ばしたところ、右手薬指を挟み被災した。	35	30201	7	50~99	

2017	3	14~15	本社工場で、クレーンの無線リモコンを使用して機械の移動を自分が立っている方向へ動かしている時に、強風で機械が流され、置いてある機械との間に挟まれ鎖骨・肋骨を骨折した。	46	80409	6	50~ 99
2017	3	14~15	工場内において、クレーン作業をしている時、ワイヤーを右手で支えながら巻き上げていたところ、捻じれたワイヤーに安全手袋が絡まってしまい、ワイヤーが勢い良く戻ったため、腕も一緒に腕も一緒に捻じれてしまった。	64	11209	7	1~9
2017	3	9~10	クレーン操作中、スプロケット（直径2mの丸い製品）の吊位置を変えようとして一度床に置いた時、スリングが緩んでいたため製品が自分の方に横滑りし、左足親指を骨折した。	33	11301	6	30~ 49
2017	3	11~12	コインパーキングの新設工事で、作業員2名で精算機（85kg）の移動作業中に、手を滑らせバランスを崩したため、精算機を体で支えゆっくりと地面に落花させた。その際に、精算機と地面の間に左手の指先（中指、薬指）が挟まり、負傷した。	45	11002	4	50~ 99
2017	3	16~17	仕上工場内で終始部品仕上作業中に、隣で仕上作業をしていた人が天上クレーンで未仕上製品を吊り上げ運ぶ際、操作を誤り振り子のようになった部品が飛んできて、作業中の製品との間に左手小指の先を挟まれケガをした。	29	11002	6	10~ 29
2017	3	15~16	納入先にて、トレーラー荷台上から鉄板の束（約1,450×1,450×180mm重量約1.6t）を西側の卸場へ荷卸し作業中、荷台上の待機場所にいた被災者は、ホイストクレーンが地切り後に西側方向に動き出したことを確認した上で、吊り荷の東側に移動した。しかし、クレーンオペ担当者の誤操作によりクレーンを東側に逆走させたために、吊り荷とトレーラーのあおりに挟まれ被災した。	36	50201	7	100 ~ 299
			S-K110番船NO4ホールド左舵側上甲板上にて、鋼製パレット内のマンホールカバー（10枚重ねを番線にて4点固締）をパレットよりデッキに搬出する際、マンホールの取っ手にナイロンスリングを				

2017	3	13~14	通し、デッキクレーンにて高さ約1Mのところまで吊り上げたところ、番線が破断し、玉掛け補助に従事していた被災者の右足甲部にマンホールカバーが落下した。（マンホールカバー30kg×10枚=約300kg）	65	11501	4	10~ 29
2017	3	14~15	鋼矢板の水中切断作業中（矢板上部をクローラクレーン70t吊に玉掛した状態で、切断箇所上部を10cm程度残し上から下に向かって切断）、下部の切断が終了と同時に何らかの要因で鋼矢板が振れて、既設鋼矢板に左手が挟まれ負傷した。	38	30111	7	10~ 29
2017	4	11~ 12	洗浄を終えたショベルカーアタッチメント（油圧ブレーカー重さ約2,500kg）を、クレーンを使って所定の場所に戻そうと吊り上げた際に、吊り上げたブレーカーが横揺れし、その揺れをとめようと左手を出したが止めきれず、ブレーカーと所内の柱に挟まれ負傷した。	22	11301	7	1~9
2017	4	8~9	土木工事現場にて、クレーン機能付油圧ショベルでコンクリート柵と鎖に繋がれたグレーチングを同時に吊り上げ、4tユニック車に乗せる作業をしている際、当人がユニック車の荷台に乗って吊り上げられたコンクリートの柵に手をかけて降ろそうとしたとき鎖が切れて、グレーチングが左足の脛にあたった。	50	30106	4	1~9
2017	4	13~ 14	工場にて天井クレーン配線および試運転中、クレーンガーターが転倒し、アングルの下敷きになった。	57	11209	5	1~9
2017	4	17~ 18	工場内においてクレーン作業で品物を回転させようとした時に、クレーンの位置の確認不足により、品物が地面を離れた瞬間に手を添えた際、品物と治具の間に左手が挟まった。	43	11209	7	1~9
2017	4	9~ 10	鋳造工場12トンクレーンの走行モーター交換を4名で行う為、2名は高所作業車で機上へ昇降、2名は地上での指示、打ち合わせを行い、機上の2名がモーター取外に入った時に、地上の1名が機上へ作業を見にはしごでランウェイへ上がり、クレーンサドル上を移	71	170101	1	100 ~ 299

			動中、頭上の突起物に頭を当てバランスを崩し、鑄造保持炉上へ転落した。(3.9m)					
2017	4	9~10	鑄造工場で12トンクレーンの走行モーター交換を4名で行う為、2名は高所作業車で機上へ昇降、2名は地上作業での指示、打ち合わせを行い、機上の2名がモーター取り外しに入った時、地上の1名が機上へ作業を見にはしごでランウェイへ上がり、クレーンサドル上を移動中頭上の突起物に頭を当て、バランスを崩し鑄造保持炉上へ転落した。(3.9m)	71	11101	1	300~499	
2017	4	15~16	工場内の加工場で鉄骨製のラックを作製中、天井クレーンで吊られたラックを右に回転させたところ、勢いあまったラックで左肘を強打し、その衝撃で左肩も痛めた。	38	11209	3	1~9	
2017	4	8~9	当社工場内にて3型の鋼矢板(7.0m4枚6.5m1枚)を水洗後の仮置き場から完成品に移動し、位置決めをして降す際に吊り荷がゆっくり作業の方へ寄り、隣の山と吊り荷で左足大腿部を挟み被災した。	74	11209	7	10~29	
2017	4	15~16	当社の熱処理工場内の通路でクレーンでフックを引っ掛け、金属製の容器を持ち上げる(玉掛け作業)時にクレーンのフックと金属製容器のフックで右手中指を挟んだ状態でクレーンを持ち上げたため、右手中指に負荷(金属性容器内に製品が入っているため、約1トン)がかかり、右手中指先を開放骨折した。	38	11202	7	100~299	
2017	4	9~10	クレーンで品物を下す時に、下の品物との間に右手中指が挟まり負傷した。	70	11503	7	50~99	
2017	4	16~17	道路工事現場にてトラッククレーンで搬入した鉄筋の荷卸し作業中、トラッククレーンの荷台で作業者本人が高齢であったため、バランスを崩し地面へ転落した。	66	30106	1	1~9	
			工場内で荷物を積み込み中、2台の天井クレーンで荷物を合い吊りして荷台に降ろしている時に荷台の右サイドのサイドスタンション(荷物がくずれないように止める立ちん棒)に降りて来た荷物が				30~	

2017	4	8~9	当たりそうになり、はずそうとしてクレーンの運転手に止まるよう声をかけた。その時、吊り具が曲がり荷物がしなり、スタクションと荷物に右手一指し指が挟まれて負傷した。	52	40301	7	49
2017	4	15~16	ダイカスト第1工場のダイカストマシン2号機にて金型を取りはずし作業をしている時、金型が揺れないよう左手で金型を持ちながら右手でクレーンの上昇操作中、ボタン操作を誤り、クレーンが高速回転で巻き上がってしまい、金型とダイカストマシンとの間に指を挟まれて左手親指を負傷した。	23	11209	7	100~299
2017	4	9~10	自社工場内にて、天井クレーンによりH形鋼（600×200×11×17）をクランプで吊って横に倒そうとしていたところ、クランプの挟み方が逆だったため引っ張りすぎた状態になり、台からH形鋼が滑り、左足の上に落ちてきた。	67	11209	4	1~9
2017	4	11~12	自社敷地内でトラックに鋼材を積み込み作業中に、荷台からバランスを崩し転落し、トラックわきに転がっていた鋼材の角を踏みつけ右足首を骨折した。	36	11209	7	1~9
2017	4	8~9	工場内での鉄骨の荷降ろし作業に於いて、トラックの荷台から床上操作式クレーンで鉄骨を吊り上げる際、被災者（玉掛け技能資格者）がチェーンを用いて4本の鉄骨を束ねる玉掛け作業を行っていたところ、クレーンオペレーター（床上操作式クレーン資格者）が、被災者が作業を完了して退避したと認識して巻き上げ操作を行ったが、被災者が右手を鉄骨の上に載せていた状態で完全に退避しておらず、巻き上げによる反動で重なった鉄骨の間に右手指を挟まれた。	68	11209	7	30~49
2017	5	9~10	工場内モノレールスタッカーにてマスト内カウンターウエイトのガイドローラー交換作業中に、ウエイトを回転させるために、吊りチェーンとウエイト間にセットしたワイヤー（6mm）が破断して、ウエイトが落下し、走行レールとウエイト間に挟んでいた角	58	30302	7	1~9

			材を取ろうとした被災者の右手を挟んだ。				
2017	5	8～9	洗淨工場にてクライミングクレーンを洗淨作業するために本機上で準備をしていた。その際、足を滑らせ隙間に足を挟まれ、体後方へ倒されて右足太腿を骨折した。本機の洗淨は数年ぶりで苔が生えており、足元の環境が悪かったのが大きな要因と思われる。	49	80409	1	10～ 29
2017	5	19～ 20	機械工場内で、梱包作業をしている時に急いでいたため狭い所での作業となり、吊り下げクレーンが動いてしまい、クレーンに付いているマグネットに頭を打ち、創傷した。	49	11209	6	10～ 29
2017	5	15～ 16	鉄骨製造工場で屋外から屋内への梁の移動作業中、被災者が梁を移動用台車の上に橋形クレーンで置いた。その後、被災者は梁から吊り具のクランプを外し、別のクレーン作業で使う作業員Aに操作リモコンを渡した。Aはクレーンを移動するためクレーンを巻き上げたが、クランプが梁に引っ掛かり、梁が側にいた被災者を巻き込み転倒、落下した。その際、梁が被災者の胸部に落下した。	43	11209	5	10～ 29
2017	5	15～ 16	被災者が工場内で、トラックの荷台にコラム柱（200×200：長さ約5370mm）の荷積作業中、既に2段積載済みの状態である四方にブラケット（でっぱりがある形態部分）がある柱をその上に積みようとしたが上手く置けず、荷台の上で柱を本人がクレーンで回転させ置き直そうと柱を吊り上げたところ、クレーンの位置がずれ吊り上げた柱が自分の方向に向かって来て、置いてあった柱と吊り上げた柱に右足を挟まれた。	30	11209	7	10～ 29
2017	5	10～ 11	本社工場1階作業場において、鉄板（厚1.6×70×100cm）2枚をクレーンにて移動作業中、右手でクレーン操作し、左手を鉄板に添えていた為、バランスを崩して鉄板が滑り落ちた際、左手を引き遅れ小指を挟み、左手小指を裂傷（神経断裂）および骨折した。	34	11301	7	10～ 29
			厚さ16mm、長さ3043mm、幅1412mmの鉄板をプレス機を使って曲げる作業をしている時に、鉄板を追上げていたクレーンの操作が不				

2017	5	14～ 15	安定になり、鉄板を支えていた台座近くで、次の作業のために置いてあったクッション材（鉄塊）を取ろうとしていた被災者の右手に台座からずれ落ちた鉄板が落ちて、手を挟んだ。	62	11209	4	1～9
2017	5	17～ 18	当社A棟オープンヤードにて、クレーンで丸棒鋼材を集約する作業中に、枠内に入ってクレーンのフックにワイヤーを掛け、丸棒鋼材を吊り上げ、枠上に右足が残ったままでクレーンを操作した。その際、クレーンのボタンを押し間違えて丸棒鋼材が自分の方に動き、右足が丸棒鋼材と枠に挟まれた。	48	40301	7	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	ホイスト（屋内クレーン）で鉄板（2m44cm×1m22cm）を吊り上げた時、当鉄板と元々地面に積んであった鉄板に左足を挟んだ。	53	11209	7	10～ 29
2017	5	10～ 11	工場でクレーン上部レールを運搬台車に載せていた。（上部レール、L型アングル4本1束、1辺100mm×100mm、長さ9.2m、重量1.2t）上部レールが運搬台車の中央からずれた為、中央に寄せようと天井クレーン（2.8t）を使用し吊り上げ、地切りしたところ荷のバランスが悪かった為、スリングの位置を変更しようとクレーンを加工した時、左手でスリングを触っていたため、左手小指が上部レールと運搬台車に挟まれた。	57	11305	7	1000 ～ 9999
2017	5	18～ 19	現場にて、門型クレーンを使いトラックの荷台から重さ68kgの大型ファン（690mm×920mm×H1160mm）を降ろす作業を行っていた際、クレーンを作動させた社員が地切り（一度地面に吊り荷をつけてバランスを確認する作業）を怠った為、リモコン作業で持ち上げた際に吊り荷が振れ、傍でサポートしていた作業者の胸部に当たり、胸骨を骨折した。	41	40301	6	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場内機械職場にて、8m旋盤での主軸加工を終え、ワイヤーを使い主軸を下ろそうと2人のうち1人が主軸の北側で玉掛け、もう1人が南側でクレーン操作を行い、両者がワイヤーを手で支えながら重心位置を指示していたところ、少し巻き上げたワイヤーが内側	30	11301	7	100 ～ 299

			に絞られ、手を添えていたワイヤーと主軸の段差部との間に右手親指を挟まれてしまった。				
2017	5	0～1	天井クレーンの運転席よりクレーン操作を行っているとき、クレーンの操作は両手でレバーを操縦し、また左手はロック操作が加わりずっと押しっぱなしの状態であった。手の平が痛くなり、常に両手のレバー操作があり、肘より先が痛くて痺れ、両側遅発性尺骨神経麻痺と診断された。	64	50101	19	10～ 29
2017	5	8～9	当社工場にて製品をクレーンで吊り、床面に降ろす作業をしていた際、製品と機械面板と取り付け具との間に左手薬指を挟み負傷した。	32	11301	7	1～9
2017	5	15～ 16	工場において、クレーンで1tの品物をトラックに積み替える作業中、フックの位置が品物の重心からずれて、品物からフックが外れて足の上に落ち両足を受傷した。	47	11301	4	10～ 29
2017	5	9～ 10	コンテナクレーンの脚立上で固縛用プレートを溶接完了後の移動中に足が雨で濡れていた為に、足が滑って落下しそうになった時に、フォークリフトの爪部に道具箱があり、それを掴んだ時に同部箱が落下し（地上1.8m位）、手と顎、膝下部を負傷した。	35	30302	1	1～9
2017	5	11～ 12	工場内の作業場において、機械の土台の位置を動かそうと土台の下の際間に手を入れた時、機械と床の間に指を挟み裂傷した。	38	11709	7	1～9
2017	5	10～ 11	ホイストクレーンを使用し鋼材置き場にある丸棒（長さ6m、重量約1.7t）を移動させるため、ワイヤーをフックに掛けた。丸棒を吊り上げる際には、本来はストッパーの外に出て吊り上げる作業を行うべきところを、惰性で作業を続行したために右足が残ったままとなり、吊り上げた丸棒の下側にあった別の丸棒が安全靴を履いた右足に乗ってきたため、足を置いていた鋼材（丸棒）との間に右足を挟まれた。	43	80109	7	10～ 29
		10～	被災者の就業場所である支店の資材置き場にて、作業に用いる攪拌翼をクレーンで吊り上げて移動中、地面に降ろす際に添えてい				10～

2017	5	11	た被災者の指が、すでに置かれていた別の攪拌翼との間に挟まれ負傷した。	57	30309	7	29
2017	5	10～11	製品を運搬する為にクレーンを使ったが、周囲の確認を怠った為に運搬物が近くに停車されていたフォークリフトに接触し、バランスを崩して落下した。その際に落下を防ごうとして作業員が近付いた為、運搬物と床の間に挟まれてしまった。	21	11409	4	100～299
2017	6	8～9	工場内で切断作業の為、φ50×6mの丸鋼材を腰の高さ程の作業台にクレーンで載せた。既に載っている満形鋼を下ろしてからやればよかったが、手間をおしめ作業台に満形鋼が載った状態で丸鋼材を載せた。その後、満形鋼をクレーンで吊り上げると同時に丸鋼材が転がり、左足の安全靴の上に落下し、負傷した。	24	11209	4	10～29
2017	6	11～12	事業所内の第2工場にてワインダー（シート巻取機）上部のヒーター交換のため、高さ8m程度を登り、端子箱の配線作業をしていたところ、作業員に気付かず、別作業員がクレーンを操作し、後方からクレーンが移動してきた。作業員に気付くクレーンを停止するも惰性で動いてしまい、作業員がクレーンとヒーターユニットに挟まれて、胸骨にひびが入る負傷を負った。	27	11401	7	10～29
2017	6	11～12	工場内の在庫保管棚上段で（地上から約2m）、在庫の整理・片付けをクレーンを使用して行っていた。クレーンはレール等もある為、壁際に設置している棚の真上まで角パイプを移動させることは出来ない為、チェンブロックを使い、角パイプを棚まで引き込むよう移動させようとした際、角パイプの両端にセットしたチェンブロックの片体が外れ、振り子のように棚の上段にいた被災者に直撃し、工場内の柱と角パイプに背中と胸部を挟むように圧迫された。	47	11209	6	10～29
			当社請負先企業、製造部の新交通システム車両台車組立職場において、車両台車用中心ピン（540mm×470mm×高さ315mm、重量60				

2017	6	9~ 10	kg) をホイストクレーン (1t) を使用して (クレーンの操作は本人がしていた) 圧入機まで運搬する作業中のことであった。中心ピンにつば付ブッシュ (φ217mm/φ170/φ150×195L、9kg) を圧入するため、ホイストクレーンで運搬し、圧入機にのせた時に、床に置いてあった架台の脚に右足を引っ掛けて転倒しそうになり、咄嗟に中心ピンの先端に左手を着き体を支えた。その時、右手に持っていたホイストクレーンペンダントの上昇ボタンを誤って押ししまい、吊っていた中心ピンが上昇し、圧入機上部の油圧シリンダーロッド部と中心ピンの間に左手を挟まれ、受傷した。再発防止策として、2S (整理・整頓) を徹底し、作業エリアの作業者の動線を確認する。	35	11503	7	30~ 49
2017	6	14~ 15	7番積込建屋にて、アルミコイルを、吊り具で荷台最後部に3コイル目を積込した。積込担当者が吊り具を抜き取りしたところ、吊り具が揺れて、コイルのコバ面と接触しそうになった為、側にいた積込立会者が揺れを止めようとして咄嗟に手を出し、コイルコバ面と吊り具先端の間で右手小指を挟まれた。	34	40301	7	100 ~ 299
2017	6	23~ 24	製品 (約44kg) 加工の完了後、治具から外し、吊り上げ治具をセットし吊り上げようとクレーンを上昇させた際に、吊りフックが外れて顔に飛来し、裂傷を負った。	37	11002	6	50~ 99
2017	6	17~ 18	製造工場において、ラックの中に入っている黄銅インゴットをホイストで吊り上げて移動したところ、ラックも一緒に持ち上がり、吊っている状態から落ち、右足親指に当たり負傷した。	51	11101	4	30~ 49
2017	6	10~ 11	本社工場No.5運転台にて運転中のエンジンにおいて、現場担当者 (被災者) が、煙突内の圧力 (背圧) を制御するバルブ操作のため、上部煙突付近の足場へ上がろうとして右手をクレーンレールに掛けたその時、別の業務に従事していた者が被災者の存在に気付かず、5t天井走行クレーンを東から西へ移動させ、被災者の右手がクレーンレールと5t天井走行クレーンの車輪によって挟まれ	23	11501	7	100 ~ 299

			た。				
2017	6	11～ 12	当社塗装工場にて、鉄板（70kg）を塗装の前処理作業のため、天井クレーで吊り上げていたところ、吊り金具がきれいに入っていなかったため外れ、右手人差し指が鉄板とパレットの間に挟まれて被災した。	50	11209	7	1～9
2017	6	13～ 14	工場内で機械加工するため、品物（形状山型、重量約60kg）を床上でナイロンスリングを使用し、クレーンで吊り上げて反転作業中に、ほぼ反転が終わりかけた時、ナイロンスリングが滑り落下した。その時に品物を手で支えていたため、床と品物の間で指を挟み、左手中指に裂傷を負った。	26	11301	4	30～ 49
2017	6	10～ 11	敷地西側資材搬入場所にて、15tトラックの荷台上で、鉄骨リン木用山留材の荷下ろし作業中、山留材（H=400×400×13×21、L=1.5m 258kg）をタワークレーンにて吊り上げる準備をして、玉掛けワイヤーを作業しやすい高さにしようとするために、少し巻き上げるように合図者がタワークレーンへ無線で巻き上げを指示した時、玉掛けワイヤーの圧縮止め部が、山留材上端のフランジ部に引っ掛かり、材料が浮き上がり外れた反動でずれ落ち、山留材が被災者の右足の甲に当たり、負傷した。	25	30201	4	1～9
2017	6	13～ 14	機材センターにて、同僚2人と小型バッチャープラント（3.9t）を13tトラックに積込作業中、バッチャープラントの上部に登って前かがみ姿勢でワイヤーを掛け、クレーンで吊り上げ始めたので、ワイヤーの張り具合を確認しようと前方上部を見上げたところ、ふらつき後ずさりした。この時、プラントの突起物（アングル）に躓いて体勢が崩れ、そのままの体勢で足から飛び降りるように転落し、地面で両足を強打し、両踵を骨折した。	43	11301	1	1～9
2017	6	8～9	工業敷地内で、トラックからクレーンで鉄パイプの束を下ろしていた時、操作していた人と下ろすタイミングが合わず、鉄パイプを支えていた手を挟んだ。	47	40301	7	1～9

2017	6	16~17	工場内1Fにてクレーン作業中、原板（長さ2,500×巾300×厚80、600kg）をばん木の上に下そうとした時に、原板が傾いて膝の上部を打撲した。スリングで吊っていても据付け時には吊荷が傾くことがあると、充分確認した上で作業を行わなかったために起こった事故である。	32	11209	6	1~9
2017	7	9~10	クレーン設置準備時、補助ジープのセット時に、テンションロットがはずれなく、引いたとたん、一緒にジープの上から、約3m下のアスファルトに転落した。事故発生前、準備中に4tトラックがクレーンの先端部分にドンとぶつかって来た。	73	80409	1	1~9
2017	7	15~16	ホイストクレーンで積み荷をあげようとした際、チェーンに緩みがあったため、指で押さえた時にクレーンのフックと積み荷の帯の間に左手親指を挟み受傷。	45	170101	7	100~299
2017	7	11~12	工場内ヤードで、橋梁の横桁のたたみ作業及びふだ付作業をしている時隣で、横桁の漆接板をクレーンでばらしていた。クレーンオペレーターが玉掛合図者の巻き上げストップの合図がわからなかったため、H桁に並べてあった横桁が崩れ下敷きになり足を負傷した。	32	11209	5	1~9
2017	7	11~12	工場内ヤードで、橋梁の横桁のたたみ作業及びふだ付作業をしている時隣で、横桁の漆接板をクレーンでばらしていた。クレーンオペレーターが玉掛合図者の巻き上げストップの合図がわからなかったため、H桁に並べてあった横桁が崩れ下敷きになり足を負傷した。	41	11209	5	1~9
2017	7	13~14	客先構内において天井クレーンのタラップ手摺取付作業を被災者（作業長）含む4名で行っていた。手摺取付後のグラインダー仕上作業の電源をクレーンからとるよう被災者が指示し、他の作業員もトロリー近接作業でないため了承した。その後グラインダー作業に取りかかろうとした際、被災者が作業予定に無かったストッパー取付用ボルトの締め付け作業を開始した。被災者がトロ	44	11702	13	1~9

			リー点検用デッキとランウェイガーターに足をかけた状態（トrolleyに近接した状態）でスパナを用いてボルトに接触した際に感電し被災した。				
2017	7	18~19	当社組み立工場にて、機械部品を移動させるためそれを載せている台からクレーンで吊り上げようとしていた。吊り具をクレーンのフックに掛け、上昇させていたところ、本来は張った状態になるべき吊り具の一部がたるんだまま部品が傾いた状態で上がった。斜めになりバランスを失った部品は、台（2台の内、1台）から外れてしまい、作業者の右足の甲付近に倒れてきて負傷した。	31	11301	4	100 ~ 299
2017	7	14~15	仕事の段取り作業中、厚板母材を天井クレーンからのフックに掛けられるよう、母材を割る際に、フックが外れ、右肩鎖骨部に外れたフックが当たり打撲した。	35	11209	6	50~ 99
2017	7	16~17	請負現場において、クレーンでの運船作業中クレーンの動きを確認するため、積み上げられた、鉄パイプの上に登ったところ、バランスを崩し落下し、負傷した。	45	11209	1	10~ 29
2017	7	12~13	工場内作で、天井クレーン操作で右手親指を頻繁に使用。徐々に痛みが増し、日常生活にも支障が出始める。工作中に、ゲージが持てなくなり休業する。拇指CM関節症と診断される。	55	11209	19	1~9
2017	7	17~18	丸型の鋼材（長さ約3m・直径11cm）をベルトコンベアからホイストクレーンで吊り、引き上げ回収する際に、振り子のようになった鋼材の角とベルトコンベアの突出部分との間に指が挟まり、裂傷・骨折した。	41	11009	7	30~ 49
2017	7	13~14	工場内で鉄骨の片付け作業中、門型クレーンで鉄骨（300mm×150mm×10m、500kg）を吊り上げて動かしたが、鉄骨の端がガーターに引っかかり、安定を失って手前にずれ落ちてきたため、鉄骨のフランジが、後向きになった本人の両足下腿部に当たり、負傷した。	41	11209	6	1~9
			工場内で、クレーンにつられた金型を下ろす際、金型がクレーン				

2017	7	15~16	のフックから外れ、足に当たり負傷した。	46	11203	4	1~9
2017	7	13~14	クレーンで鋼材を吊り上げ、台の上に移動させようとしたところ、台に鋼材が当たり台が倒れて左足を骨折した。	66	11301	6	1~9
2017	7	10~11	作業所内で天井クレーンを使用し、鋼製型枠を振動台の上で移動、設置の作業中、クレーン下げ動作で型枠が振動台上に接地したと思ったが、実際には高さ10mm程度のズレ止めの上に乗っていて、型枠がずり落ちた衝撃で左手を添えていた型枠部品が激しく左手に接触した。	54	10901	4	10~29
2017	7	8~9	当社第2工場ではクレーンにてH形鋼の移動中、移動の補助をしていたところ、地面においていたH形鋼と置こうとしていたH形鋼との間に誤って右手親指を挟んでしまい負傷した。	48	11209	7	10~29
2017	7	10~11	社宅リフォーム工事に使用する資材（約100kg）を、自社倉庫に於いて、つり上げた時に、資材がバランスを崩して、左手の上に落下し、骨折した。	34	30201	4	1~9
2017	7	17~18	自社工場内で、組立作業中ホイストで鋼材を吊り上げ、組立台に乗せようとして、足に落とした。	58	30201	4	10~29
2017	7	10~11	ボイラー台製作のためコーミングのプレートをクレーンで移動し、スリング1本吊りで重なった4枚のプレートを床に接地しようとした。その際、バランスをとろうとプレート側面に手を添えたところ、プレートがずれて、手を挟まれ負傷した。	40	11501	7	1~9
2017	7	10~11	工場?棟の仮付場所で一次加工品を仮付台に乗せるときに、自分でクレーン作業をして梁製品を降ろした際に、左足に梁製品を乗せてしまい骨折をした。	22	11209	7	30~49
2017	7	10~11	社内開先機にて厚さ1.6cm幅45cm長さ4.4m鋼材をクレーンとマグネットを使用して移動させながら作業をしていた。マグネットの位置をかえようとした時、スイッチを切ったと思いこみクレーンを上げてしまい、鋼材を左足に落下させてしまった。	53	11209	4	10~29

2017	7	2～3	工場内の冷凍自動倉庫内でアイスクリームの入庫作業中、普段入る必要のない場所に入り、可動式クレーンと踏台に背部・腰部・腹部を挟まれ死亡した。	37	10101	7	50～ 99
2017	7	11～ 12	工場内でスケーラー作業中、H鋼製品を移動していたところ、製品を積み重ねていたときに吊り上げていた製品が振れ、近くのH鋼製品との隙間に左小指を挟み負傷した。	18	11209	6	50～ 99
2017	7	8～9	会社作業場にて、トラックの荷台上で鋼材の荷卸し作業を行っているときに、ホイストで吊っていたコラムが荷台上に置いてあったH鋼に当たり、倒れたH鋼が右足に当たり負傷した。	69	40301	6	10～ 29
2017	7	11～ 12	2.8t天井クレーンで鋼材を置く際に、隣に置いてあった鋼材の台木にぶつけ、その鋼材が落下した。その落下した鋼材の長さが通常（4000mm）よりも長く4700mmであったため、足に近く、落下と同時に避けたが、左足に鋼材が衝突した。	56	11209	5	50～ 99
2017	7	16～ 17	当事業場内において、H鋼材（約1t）の塗装作業を行っていた。その材料の裏側に塗装するため、H鋼材の向きを変えようとクランプに挟んで吊り上げたとき、クランプが外れ、自分の方へ倒れてきた。自分の後部にも鋼材が置いてあり、左胸と肩、腹の間が鋼材間に挟まれた。	30	11209	5	10～ 29
2017	7	12～ 13	工場内で、クレーン上部の感知器の取替作業をしているときに、クレーンが動き出し、被災者の右足が巻き込まれ、右足骨折の災害が発生した。なお、同日昼休みに取替依頼があり、クレーン上で修理が必要なため、クレーン管理者にクレーン操作停止を依頼し、修理を開始した。修理完了後、撤収作業時に突然、クレーンが動き出し、右足が引っ張られ骨折した。	60	30203	7	1～9
2017	7	10～ 11	工場内で、ホイストにより機械のカバー（1500×800、200kg）を吊り上げたとき、カバーの一部が機械の本体に引っ掛かったため、手で外したところ跳ね上がり、機械とカバーの間に右示指を挟み切断した。	60	11209	7	1～9

2017	7	14～ 15	ホイストで、ラインから流れて来た製品を台車に積み込む際、安全のためにボタンを押さないかぎり開放しない仕組みになっているが、操作ミスにより、製品を右足の甲の上に落とした。	52	170101	4	30～ 49
2017	7	14～ 15	ラインから流れて来た製品を台車に積み込む際、安全のためにボタンを押さないかぎり開放しない仕組みになっているが、操作ミスにより、製品を右足の甲の上に落とした。	52	10903	4	50～ 99
2017	7	15～ 16	倉庫で片付け作業をしていた際に、金属箱を別の金属箱に収納するときに掛けていたフックが外れ、指を挟み、左小指を切断した。	48	11109	7	1～9
2017	7	11～ 12	トレーラーに乗務し、積荷（棒鋼）の配送先（被災場所と同じ）に到着後、指定場所に停車し、門型クレーン（2.8t）による荷降ろし作業中、荷台上で運転手（被災者）が棒鋼束を玉掛けした。巻き上げ後、車両後方に移動（横行）していたクレーンが倒れて、荷台上にいた運転手が、倒れたクレーンと荷台に挟まれ、腰部を負傷した。	50	40301	5	10～ 29
2017	7	15～ 16	工場内でクレーン（2.8t）で品物を移動する際、H形鋼（1.2t）を吊り上げる前の状況確認を怠り、左手にコントローラーを持ち、右手で吊り材（クランプ）と玉掛けワイヤーの連結部を触っていたときに、利き腕ではない左手で上ボタンを押して右手の指を挟んだ。	28	170101	7	10～ 29
2017	7	0～1	被災者は、工場ESR炉作業場で、ESR炉溶解後の片付け作業をするため、1人でクレーン作業を行っていた。食事休憩の時間になっても戻って来ないため様子を見に行ったところ、作業場北側のESR電極置場で倒れているのを発見した。	52	11301	1	1000 ～ 9999
2017	7	10～ 11	工場にて、鋼材を荷台に上げるため荷台に上り、クレーンを使用して鋼材を置く作業をしている最中、鋼材が振り子のように少し揺れ、その際に鋼材の頭が左足に当たり骨折した。	68	11209	6	1～9

2017	7	15~ 16	縦桁（長さ約9m、重量約850kg）の糸面取作業の際、壁クレーン（2.8t）で縦桁を東向きに倒す途中、壁クレーンの操作を誤り（西へ戻すところ東へ）、倒そうとしていた縦桁が約1m横滑りし、そのウェブと横に倒していた縦桁のフランジの間に足が挟まり負傷した。	67	11209	7	1~9
2017	7	14~ 15	工場内で鋳物出荷時に、製品をクレーンで吊り上げたとき、別の製品が傾き、左足の甲の上に倒れて来た。	31	11002	5	10~ 29
2017	7	14~ 15	鋼材の積み込み中、鉄骨に指が挟まった。	24	40301	7	1~9
2017	7	15~ 16	車庫において、120tクローラクレーンのオイル交換中、クレーンのステップに降りようと足を下ろしたとき、右足を滑らせて背中より1m下に落下し、背中を強打した。	70	80409	1	50~ 99
2017	9	10~ 11	当社トラックIH車で、建設現場敷地外に行きクレーンで積荷製材を降ろす作業中、手がバンドに挟まれたまま吊り上げられた為、身の危険を感じバンドから手を抜いたことから積荷製材荷台に落ち右足踵負傷。	53	10401	1	30~ 49
2017	9	9~ 10	一人で本社工場において、鋼製煙突の仮組作業をしていた。作業中電話があったので作業を一時中断し対応した。そうこうしているうちに、うっかりして倒れどめをするのを忘れたまま、鉄板を吊っていた天井クレーンのクランプを外した。そのため、鉄板がそばにいた本人に倒れかかり転倒し、床にあった鋼材に前頭部を打って負傷した。	37	11209	6	10~ 29
2017	9	11~ 12	工場足場板（原板）を切断台にセットするために、床上操作式クレーンで移動中に、ハッカー（吊りフック）の不安定なかかり具合により、原板が不安定になり右足にぶつかった。吊り上げ時のフックのかかり具合の確認ミスによる事故である。	53	11209	6	10~ 29
		21~	工場内においてクレーン操作による鋼材の乗った台車の移動作業中、クレーンの操作を誤り、吊荷が機械に衝突しそうになったた				50~

2017	9	22	め、衝突を阻止しようと咄嗟に吊荷に手を掛けてしまい、吊荷と機械に指を挟まれ負傷した。	46	11209	7	99
2017	9	11～ 12	工場棟内S棟1スパンにてZX850トラックフレームに上板を乗せ、上板に付いていたイーグルクランプを外す為、トラックフレームを乗せていた定盤に乗った時、クレーンシーグカバーに頭をぶつけ負傷した。	33	11301	3	1000 ～ 9999
2017	9	13～ 14	製作所バルク事業部において、バルク貯槽の積み込み作業中にクレーン操作を誤り、自分のいる方向へ移動させてしまった。その際によそ見をしていた為、誤操作に気づかず、置いてあった別のバルク貯槽との間に挟まれ負傷した。	52	11209	7	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	現場使用材料を搬出準備中、事業場内の門型クレーンで鋼板を吊り上げたときに、バランスをくずし、荷崩れが起き鋼板が落下、足を挟まれ負傷した。（鋼板550×1000×6）	78	30201	4	10～ 29
2017	9	9～ 10	工場内において、機械器具製造中、チェンブロックに部品を吊り下げて埋め込む作業中、工作機械の金属製のふたに手袋をはさまれてしまい、そのまま右手親指を巻き込まれて負傷したものである。	45	11301	7	10～ 29
2017	9	15～ 16	工場内で定盤（6m×25m）を吊り上げる作業をしている時に、1点吊をしてクランプが定盤に引っかかっている事に気づかずにクレーン（2.8トン）を上げてしまったため、引っかかっていたクランプが外れてクランプが顎に当たってしまった。	41	11209	6	10～ 29
2017	9	9～ 10	工場内に於いて、柱を反転機に乗せる作業中、台上のゴムマットのずれを直そうと指を入れた所、クレーン操作者との合図が合わず、操作者が柱を下げた為、左手人差し指を挟み受傷した。	42	11209	7	30～ 49
			自社工場入口において、天囲クレーンを使用しホイストクレーンレール用H型鋼材の搬出作業中、高さが通常自社で使用する普通トラックの荷台より高い大型トラックの荷台上で仮積み後、上部を				

2017	9	8～9	確認しないまま左手で吊具上部を持って右手で巻き上げ操作を行ったところ、天囲クレーン巻上機本体と吊具上部の間に左手親指、人差し指、中指を挟まれ、左手親指を骨折、人差し指、中指の裂傷を負ったものである。	58	80209	7	1～9
2017	9	23～24	N1マシンリール前で枠替え作業を実施違反を取り直しフックに移動するため、クレーンを操作し原反を荷揚げした。原反を取り直しフックに掛けようとしたところ、駆動側のシャフトがストッパーを越えてしまい原反が左右に回転した。振れを抑えようと咄嗟にシャフトの取っ手に手を出し、リールフレーム部とシャフトの間に指を挟み被災した。	38	10601	7	100～299
2017	9	14～15	会社内で天井クレーンでアリゲーター（縦1m横50cm高さ1m重さ約500kg）を移動させていたところ、おろす所に電線があったので右足でよけようとした時、おいてしまい右足甲部にアリゲーターの角が当たり負傷した。	75	80109	6	10～29
2017	9	14～15	事業所内工場で被災者が部材の取り付け作業を行っていた時、加害者がクレーン作業において、リフティングマグネットで部材を配材しようとしていた所、作業者のいない所を通り配材するつもりが操作を誤りかがんで作業をしていた被災者の背中に落ちてしまい、ケガを負わせてしまった。ウォールクレーンをめんどくさがらずに、真中の方にずらしていたら作業者のいない所を確実に通れ配材出来ていた。サイレンを確実に鳴らしていれば、被災者はよけていたので、災害は起こらなかった。	50	11501	4	1～9
2017	9	8～9	自社作業場で、鉄のアングルを天井クレーンで運搬する作業をしている時に、鉄のアングルを降ろして玉掛していたワイヤー2本のうち1本をフックから外し、もう1本をフックから外す途中でフックが上げられてしまい、ワイヤーとフックに右手中指が挟まれて負傷した。	47	80401	7	10～29
			AHの中温エレメントを既設電動ホイストで抜き出していた、被災				

2017	9	16～ 17	者がエレメントの抜き出し補助と振れ防止のため右手をエレメント側面に添えた、その後左手をエレメント上部に添えようと上昇中のエレメントを見下ろしたまま左手を不用意に伸ばした時、ホイストのワイヤーロープと滑車に左手薬指と小指を挟まれ被災した。	29	30309	7	1～9
2017	10	2～3	工場内で切断した鋼材製品を門型クレーン（マグネット付）を使用して片づけ作業をしていた際、吸着させた製品の下にスクラップが付着していた為、そのスクラップを取り除こうと製品の下に右腕を入れた時に製品が落下し被災した。	49	11209	4	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	工場内にて、鋼材をグレーンにて移動し、台車の上に載せる際、鋼材と台車の間に指を挟まれてしまい、左手小指を負傷した。	51	11209	7	10～ 29
2017	10	11～ 12	コンテナと荷台を接続するピンが何らかの理由でロックされたままコンテナを引き上げるクレーンに車体ごと吊り上げられ途中で落下。そのはずみで車外に投げ出され頭部及び腰部を強打したものの。	56	40301	1	50～ 99
2017	10	11～ 12	天井クレーンのバケット交換作業終了後、バケットから降りようとした際にバランスを崩し、6.5m下のピットへ転落。	50	150103	1	10～ 29
2017	10	16～ 17	工場内にて治具（84cm×210cm約100kg）の上面に吊り上げ用のフックを取り付ける溶接作業をする為、治具を万力で締め付けて固定し、紐を通して、ホイストで吊り、作業台に立てかけていた。治具を反転させる為、万力では不安だったので、近くの穴に直接紐を通そうと、少しホイストを緩めた時、治具が右足に倒れてしまいケガをしてしまった。	52	11502	5	10～ 29
2017	10	15～ 16	被災者はコンテナターミナル内でトランステナーを使用して40' コンテナ（幅広コンテナ）をトレーラー積みする作業に、位置合わせの要員として合図者を含む5名で従事していた。位置合わせ後、シャーシーにコンテナを下ろす時、コンテナのキャスティングに右手をかけていたため、コンテナとシャーシーの隙間	26	50202	7	10～ 29

			に指を挟み負傷した。				
2017	10	15～ 16	工場でトレーラーの床材をはがす際に天井クレーンのつり具が外れて、鼻に当たった。つり荷が外れてその反動で、つり具がふれ、労働者の鼻に激突した。	48	11701	4	10～ 29
2017	10	15～ 16	防護木の内型を定盤の上で反転しようとしたところ定盤から滑り落ちた。右足の内側土踏まず付近骨折3ヶ所2週間後にキブスを外す。	54	11209	4	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	本社工場内の溶接現場において、クレーンで鉄骨材料を移動作業中に誤って隣のクレーンに接触した。吊り荷（仕口）のバランスが崩れて自身の足許に落下し、右足甲部を打撲した。	40	11209	4	10～ 29
2017	10	21～ 22	鑄造機内にある金型をクレーンで交換するために、金型を上につり上げた際金型が開き落下。その際金型をよけようとしたが、金型の一部が右ふとももにあたり裂傷した。発生原因：通常金型をつり上げる際はまっすぐの状態を引き上げる所を、ななめの状態に移動させたため、バランスを崩した金型が開いて落下してしまった。	21	11102	4	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	その他工事において、B棟の4階外部ステージへボードをタワークレーンで荷揚げをして取り込む補助作業を行っていたがステージへ荷を降ろす際にボードを積み重ねた荷の側面とステージの足場支柱に左手中指の指先を挟み負傷したものである。	16	30201	7	30～ 49
2017	10	15～ 16	入庫製品が到着、クレーン作業補助として作業を開始。5号倉庫北側奥まで移動し、西側へ4m程移動。クレーン作業者と反対の西側に立ち、幅2m位の場所に製品を降ろそうとしたところ、製品が西に揺れ西側に保管している製品に当たると思い手で止めた。反動が大きく製品と製品に手が挟まり負傷した。	54	80401	6	10～ 29
			第1工場A棟において、ビルトエイチ部材（以下BH）を溶接形鋼組立装置（以下組立機）にて組立作業中、BH用フランジ材（平板W350×t18×L9000）をローラーコンベア上に送材し、ストッ				

2017	10	10～ 11	パー治具（以下治具）を左手で支えフランジ端部を治具に合わせようとした時、クレーンにて組立機に送材してきたBTがフランジに接触。その弾みでフランジ材が手前に動き、治具を支えていた左手第三指が治具とフランジ材に挟まれ被災した。	23	11209	6	50～ 99
2017	10	15～ 16	当社工場において、被災者と当社社員の2名で約300kgの板を他の場所から事故現場へ当社社員のクレーン操作で移動させる作業を行っていた。正規の置き場所ではなく、又、他の型の違う製品の上へ板8枚を積み上げている作業中に荷崩れを起こし、一緒に作業していた被災者の右足の上へ乗り、右足を負傷した。	18	11209	5	30～ 49
2017	10	10～ 11	自社工場で玉掛けの補助業務としてクレーンで吊ってあったエルボが揺れないよう手で支えていたところ、誤ってエルボの先端部分に右手親指を挟んでしまい受傷した。	32	11301	7	10～ 29
2017	11	8～9	トラック2台で得意先へ納品に行く仕事で、最初に到着し、荷降ろしの順番待ちで待機していたところ、もう1台の車が、反対方面の倉庫に行ってしまったので走って呼び止めようとしたところ、足を痛め、転倒した。その後歩けなくなり、病院で右アキレス腱部分断裂不全の診断を受けた。	69	11102	7	10～ 29
2017	11	11～ 12	3F保管エリアにて入庫作業として商品を固定パレットラックに格納（2段目）する際、商品がパレットラックに接触し落下しそうになった。フォークリフト車体に足を掛け、商品を元の位置に戻そうとしたところ足を滑らせてしまい、地面に着地したが右足踵部分を床に強打してしまった。	21	30209	7	1～9
2017	11	11～ 12	幼稚園2階音楽ホールから避難訓練のため、園庭に降りる時階段上部2段目より左足を踏み外し、左足甲部分を骨折した。	68	11109	7	1～9
2017	11	16～ 17	コンクリート打設準備作業場で、鉄製型枠の清掃及び組み立て作業をしていたところ、クレーンにて型枠を移動中フックが外れ、約40kgの型枠部材を20cmの高さから右足甲に落とし負傷した。	49	10901	4	10～ 29

2017	11	9～ 10	工場において台車から製品荷降ろし作業中、台車上の左右に1つずつ置かれた梱包製品の向かって右側の製品を置場（平場）に降ろそうとワイヤーを掛け地切り（吊荷を地面から離すこと）をしたところ、吊った製品が揺れたので左手で支え揺れを収め地切りをやり直した際、わずかな捻りが加わっており、製品が手前に回る様な動き（時計回り）をして、向かって左側の製品との間に左手が挟まれそうになったので、咄嗟に左手を引いたが間に合わず小指先端部を欠損してしまった。	49	11209	7	10～ 29
2017	11	13～ 14	当社加工場内で鉄筋（約500kg、約100本）を門型クレーンにてトラックに積み込む作業中、荷台の上でクレーン操作をしたまま、別の搬入車両に気をとられ、目を離した際に、吊荷の鉄筋が体にぶつかり、トラックの荷台から落下した。その際、接地した左膝と両手に怪我を負った。	54	11209	1	1～9
2017	11	13～ 14	工場内において約2tの電動機を天井クレーンにて移動作業中、右手で操作用ペンダントを持ち、左手で吊りワイヤーを掴み、荷上げを行ったところ、左手中指が、ワイヤーと吊り荷の間に挟まれ受傷した。クレーン操作に気を取られ、左手の状態に注意が疎かになっていた為と思われる。もう1名の玉掛け作業員も左手の状態に気付かず回避出来なかった。	38	11403	7	1～9
2017	11	17～ 18	当社工場内にて食肉用牛肉納入作業中、牛肉半頭（長さ2m、重さ220kg）を加工場へ移動させる為、トラックから牛肉を天井吊り下げホイストチェーンフックに牛肉を掛け、押したところフック上のチェーン（鎖）が切れ地面にフックごと牛肉が1m高から落下し、跳ね返った牛肉が強く首に当たりフックの根元が頭に当たり負傷したものである。	37	10101	4	10～ 29
2017	11	11～ 12	機械場で、重量100kg位の鋳物製品をクレーンで移動させる時に、操作ボタンを押し間違えて、上に上げるべきところを下に下げたため、鋳物製品が倒れて左足の上に落ちた。安全靴は履いてい	48	11002	4	10～ 29

			た。				
2017	11	9～ 10	工場内において、加熱炉抽出扉応急補修工事中、抽出扉を取り外し、扉の応急補修を行った後、抽出扉を元の位置に設置するため、抽出扉を天井クレーンで吊り上げ移動させていた。作業員Bが天井クレーンをペンダント（無線操作装置）で操作し、被災者Aと作業員Cの2名が吊り上げた抽出扉の介添えのため加熱炉横のデッキ上にのぼり、抽出扉を移動させていたところ、天井クレーンのトロリー点検用カゴとデッキ手すりに被災者Aが挟まれ負傷した。	44	30302	7	1～9
2017	11	10～ 11	鉄鋼製品を入れた運搬用バスケットを2段積みクレーンを使用して運んでいた。1段目と2段目のバスケットの間に少しズレがあった為、手で押して修正したタイミングと、クレーンからその荷を降ろしたタイミングが重なり、そのズレ（隙間）に左薬指が挟まり負傷した。全治1ヶ月程度と診断された。	55	170101	7	50～ 99
2017	11	9～ 10	工場内でクレーンで鉄を持ち上げる作業をしている者の近くで、補助作業をしていた際に、降ろした鉄にクレーンが引っ掛かり、それが倒れて右足首を負傷した。	58	11709	2	10～ 29
2017	11	14～ 15	工場内において高所作業中にて品物を回転させる作業の補助中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つのシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒されて負傷した。	45	11209	6	1～9
2017	11	14～ 15	工場内において高所作業中に品物を回転させる作業の補助中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つのシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒されて負傷した。	35	11209	6	1～9
2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物	38	11209	6	30～ 49

			が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。				
2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。	45	11209	6	30～ 49
2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。	28	11209	6	30～ 49
2017	11	9～ 10	倉庫東側門型ヤードにおいて被災者であるクレーン運転手、玉掛け作業者は、トレーラーにH600×200×11/17（SN400B）10M-3本・1結束を積んだ。その後、トレーラーの運転手がトレーラー上にてワイヤーの片側を外す作業を終えたので、クレーンの運転手はクレーンのフックをトレーラーの横側へ移動し、玉掛け作業者の手が届く位置まで下げた。（その時のフックの位置は製品の上部フランジより下がっている。）玉掛け作業者はワイヤーを製品から抜き、掛け直す為にフックの側までトレーラーの横側を移動していたところ、クレーンの運転手が巻き上げ操作をした。その際、3本結束の内、トレーラーの一番外側にある製品のフランジ部分にフックが引っ掛かり製品が落下してきた為に、トレーラーの横にいたクレーン運転手、玉掛け作業者の計2名が挟まれ負傷した。	49	11001	6	30～ 49
2017	11	9～ 10	お客様がトラックで運び込んだくず鉄の荷降ろしを手伝うためトラック後方より荷降ろし場所へのバック誘導をしていたところ、右側面の鉄板壁と天井より吊り下げられた円型マグネット（直径1.5m厚さ20cm位）に右足先を挟まれ負傷した。	49	11209	7	1～9
			レーザー切断機に天井クレーンにてアルミ板をセッティング移動中に、20cmほどバキュームリフトで吊り上げたが落下した。その				

2017	11	17～ 18	際、右手で板を下部より支えていたため、土台（滑り止め板）に挟まれ、人差し指を負傷した。原因、アルミ板上のバキュームリフト吸着箇所が掃除が出来ていなかった。	40	11501	6	10～ 29
2017	11	18～ 19	工場B棟で天板（960kg）を定盤に移動させる為に、天板の片側をスリングで吊り、パレットと天板の間に木を入れようと左手でリモコンを操作をしていると、天板がスリングから外れ天板とパレットの間に右手薬指を挟み裂傷を負った。	38	11301	7	10～ 29
2017	11	14～ 15	10tコンテナ箱（高さ160cm）を地上に降ろして、天井クレーンで廃棄物入りのフレコンバックの積み込み作業中、コンテナの前方縁部分（幅10cm）に上がり廃棄物の誘導をしていた時、フレコンバックが重さで大きく揺らぎ、身体に接触し、コンテナ箱の上部より落下した。	40	40301	1	30～ 49
2017	11	11～ 12	会社工場内においてクレーンでパイプ（350A×3m、300kg）を移動中に、置いてあった台車を動かそうとし台車とパイプに右手小指を挟まれ負傷した。	58	11301	6	1～9
2017	11	11～ 12	当社工場内にて鉄筋仕分け作業中、仕分けた鉄筋を移動させる為、クレーンで吊り上げ鉄筋の端を押そうとしたところ、吊り上げていた鉄筋と横から出ている鉄筋との間に左手中指を挟み負傷した。	48	30209	7	30～ 49
2017	11	9～ 10	事業場工場建屋内においてホイストクレーンで鉄製金網（重量約700kg）を移動中、先に移動した金網と向きを揃える為に金網の先端部を手で持っていた際、クレーンフックに掛けていた玉掛用ワイヤーの片方が外れ、金網が被災者の下肢部に落下した。尚、そのまま後方に倒れた勢いでヘルメットが飛び、後頭部を地面に打ちつけた。	42	11209	4	30～ 49
			荷下ろし作業でホイスト操作を誤り、落下しようとした製品に咄嗟に出した左手の親指を製品と吊り具に挟み負傷した。被災者				

2017	11	0~1	は、4台中3台目のコアを搬送パレットに下ろし作業が終わり吊り具を移動させようとした時、吊り具のフックが搬送パレットに引っ掛かった。吊り具の引っ掛かりを外すためホイスト操作をしたが、誤って下降ではなく西横行を押した。その際、荷が被災者の方へずり落ちようとした。その時、咄嗟に出した左手の親指をコアと吊り具に挟まれ被災した。	60	11001	7	100 ~ 299
2017	11	11~ 12	鋼材加工研磨工場で、鋼材研磨機からH形鋼材（446×199×8×12、長さ74cm、重さ48kg）を搬出し、天井クレーンを用いて、吊り具（クランプ）を使い、H形鋼材を高さ80cmの台から吊り上げる際に吊り具の取り付けが不十分だった為、被災者の方向に倒れ左足に落下した。	30	11209	4	10~ 29
2017	11	13~ 14	歪取りの作業中、T字型に組んだ鋼材3.3m（約90kg）をクレーンにて、バタ角の上に置こうとしたところ、固定がしっかりしていなかった為、バタ角がずれてしまい、床に直接落下し、その間に右手中指、薬指の先端を挟んでしまった。	59	11209	6	10~ 29
2017	12	15~16	屋外資材置場でクレーンの作業中に吊り具が左腕に当たり負傷した。	62	11501	6	10~ 29
2017	12	15~16	自社資材置場で鋼材（H-300）を整理する為にクレーンにて鋼材を吊り、積み重ねている作業中に、被災者が後ろ向きで移動中、クレーンで吊り上げられた鋼材が荷ぶれを起こし、鋼材と鋼材の間に左足ふくらはぎ部を挟まれ被災した。	54	30199	6	30~ 49
2017	12	8~9	米の入ったフレコンをクレーンで吊り上げる作業の際、蒸し器の架台に吊り金具が引っ掛かった為傾き、それを修正しようとした際にステンレス製の金具に引っ掛け裂傷を負った。（巻き上げ490kg）	34	10105	8	30~ 49
2017	12	9~10	金型の合わせを行う為、ダイスポットにセット中、クレーン操作ボタンの下降ボタンを誤って操作してしまい、左手親指第一関節を挟んでしまった。（5tクレーン使用）	55	11305	7	10~ 29

2017	12	9~10	鉄製ドア製造工場内にて、レール据付式のインデックスハンガー（横2m、縦50cm、重量約40kg）に吊り下がっているドア枠の養生をしていた際、誤って体がドア枠に触れて大幅に傾いた状態のままハンガーが動いてしまった。その為、レールからハンガーが外れて落下し、被災者の頭頂部に直撃して負傷した。	21	170101	4	100 ~ 299
2017	12	10~11	洗浄機にアクスルケースを投入する作業で、アクスルケースを勢いよくガイドにぶつけてしまい、3点吊り用のフックが外れてしまった。3点吊り用のフックが外れた事で水平を保っていたアクスルケースのバランスが崩れアクスルケースが手前側に回転した。手前に回転した際に、咄嗟に手を出してしまい、支えきれずにトルクロッドとテーブルとの間に右手人差し指を挟み受傷した。	44	11502	7	1000 ~ 9999
2017	12	11~12	会社工場内においてトラックに荷物を積み込む時、400kgの丸棒の束をワイヤーで吊り上げ木パレットの上に載せた。荷物のバランスが悪く感じ、クレーンを操作し荷物を少しずらそうとして持ち上げた瞬間、クレーン操作を誤りクレーンが行き過ぎてしまい、ワイヤーが抜け、荷物が木パレットの上ののせていた左手を直撃し、負傷した。	59	80109	4	1~9
2017	12	15~16	社内工場で、マグネットのクレーンで製品（3m40cm）を吊っている際、その製品が周辺の物にぶつかり、マグネットが外れた。3m位の高さから吊っていた製品が落下し、右足の指のつけ根に当たり、5本とも指を骨折した。	18	11305	4	50~ 99
2017	12	17~18	工場内において、束にしてある鋼材（H200×100、12m、5束、約1.2t）をワイヤーでくくり、天上クレーンで吊り上げて移動させようとしたところ、ワイヤーと共に天上クレーンのフックに掛けてあったクランプがワイヤーで吊り上げた鋼材に引っ掛かり、鋼材が当事者に向かってずり落ち、両足脛を裂傷した。	69	11209	4	10~ 29
			工場にて、製品加工用機械の部品（長さ約4m、幅約1m、重さ約				

2017	12	12~13	8t) をクレーンを使用して取り付けていた。玉掛けワイヤーが障害物に当たり、吊っている位置を変更する際、斜面に仮置きしたため、吊り荷が滑り、部品と鉄骨の土台の間に下半身を挟まれた。	31	30309	7	10~ 29
2017	12	16~17	工場内で、台車分解作業に従事していた。バネゴロシという部品を取り除いたあと、台車に載っている重り (5t) をクレーンで吊り上げる作業中、被災者は重りの最下部にある取っ手を右手で、重りの側面を左手で持って重りを支えていた。他の係員がクレーンで重りを吊り上げ地切りしたところ、台車が動き、右手の薬指と小指が台車の吊り金具と重りの間に挟まれた。	52	40101	7	100 ~ 299
2017	12	8~9	集荷先である客先において、熱処理品が入ったパレットを、トラックの荷台上に上がって積み込む際、ホイストのリモコン操作を誤り、吊り荷が本人に向かって動き、他の積み荷との間に左足を挟んだ。	50	11001	6	50~ 99
2017	12	9~10	場内作業場において、建屋内の伸縮クレーンで脱型した直 L (TVPE1) H1600 (1469kg) を建屋外の仮置き台に載せたとき、担当者が脱型治具を片側だけ外した状態で現場を離れた。現場近くにいた被災者は、脱型治具が完全に取り外されていると思い込み、クレーンを移動させようと操作したところ、製品片側が吊り上がり、仮置き台より製品が落下して、左足の甲に被災した。	65	10901	4	50~ 99
2017	12	13~14	自社工場内で、天井クレーンを使用して鉄骨を積み上げているとき、体のバランスを崩してしまったため操作を誤り、鉄骨が荷崩を起こしてしまった。その際、崩れ落ちてきた鋼材で足を負傷した。	45	11209	6	1~9
2017	12	11~12	製缶工場で、作業座 (約400kg) の溶接作業時に、一面の溶接が終わって二面目の溶接をするため、玉掛けをして2.8tホイストクレーンにて90度回転する際、隣の完成品の近くでペンダントスイッチでインチャージ操作をしていたところ、正面側 (南北) のクレーン	37	11301	6	1~9

			と作業座の芯は確認したが、東西側の芯のずれに気づかず、作業座が被災者側に横動きをしたとき、完成品の近くにいたため左足を負傷した。				
2017	12	10~11	工場内建屋内で、コンクリート製品を天井クレーンにて吊り下ろす作業を行っていたところ、製品が横に振れて、隣に置いてあった製品にぶつかりそうになり、製品の陰であったため声で合図をしたが、工場内の騒音で操作者に届かず、製品を支えようとした左手が隣に置いてあった製品との間に挟まれ、左手首を骨折した。	64	10901	7	50~99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html